

つなげモンシリーズ

社内外の分断をなくし、
データの自動化を実現する。

あらゆるシステムと現場をシームレスにつなぐ
ゲートウェイ・プラットフォーム

提案書 (Confidential) / K-SP Co.,Ltd.

■ 現場や経営が抱える課題

- ・ 毎日繰り返される「探し物」と「手作業」

資料探しやコピペ作業など、1日あたり数時間の「ムダ時間」が全社員に発生しています。

- ・ チリツモで膨れ上がる見えない人件費

1人1日1時間のムダでも、年間・全社員で計算すると数百万円～数千万円規模の赤字になります。

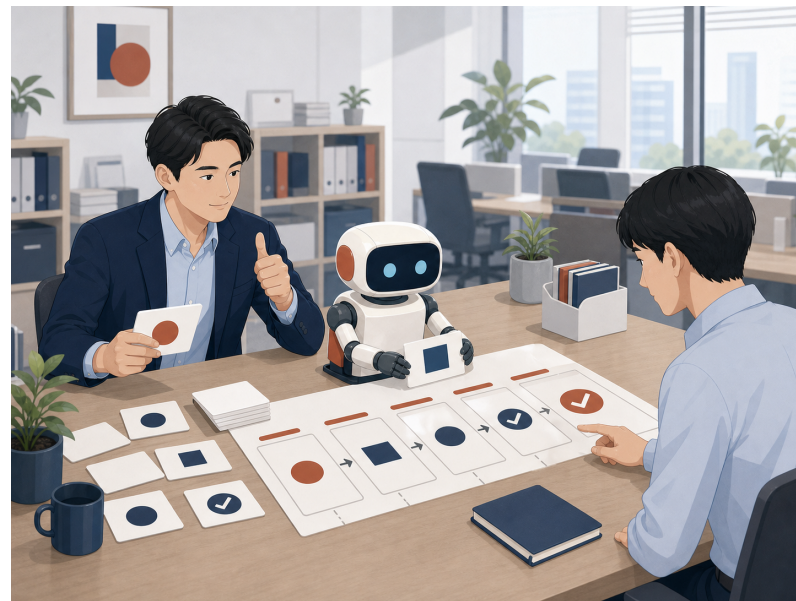
■ つなげモンが提供する価値

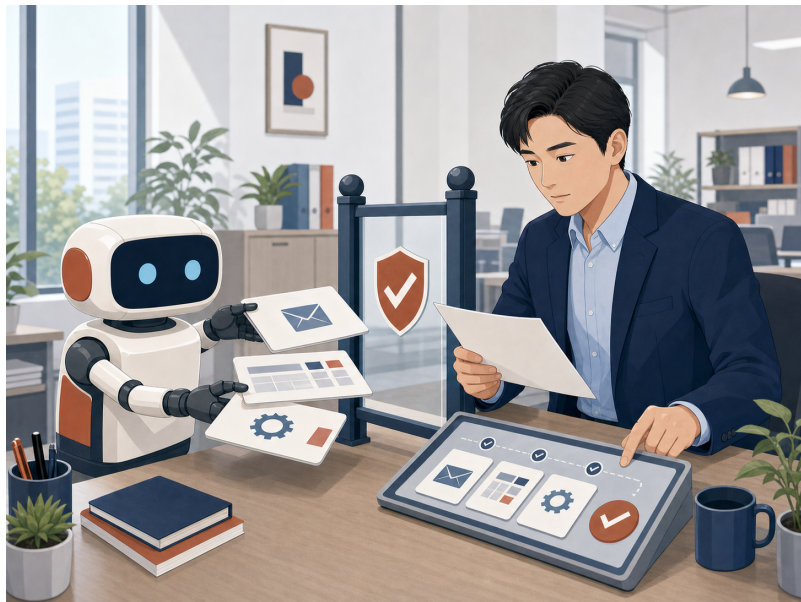
- ・ 散在する情報を一元化し、「探す時間」をゼロに
- ・ 手作業のコピペや二重入力を自動化し、ミスを撲滅
- ・ 浮いた時間を、顧客との対話や付加価値の創造へシフト

TRUTH 01

不毛な二重入力とコピペ作業

システム同士が連携していないせいで、手作業でデータを転記する「コピペ職人」になっていませんか？この作業は1円の売上も生み出しません。





TRUTH 02

「誰かの確認待ち」による業務ストップ

ワークフローがアナログなため、上司の承認待ちや部署間の連携ミスでムダな「待ち時間」が発生していませんか？

POINT 1

「忙しい」ではなく「会社が損している」

「業務量が多くて大変です」と言う
と「頑張れ」で終わりますが、
「私がこの作業をしているせいで、
会社は年間〇〇万円損しています」と
伝えと、経営陣は無視できなくなります。

POINT 2

削減できた時間の「使い道」を示す

システム化で浮いた時間を使って、
「本来やるべきだった売上に繋がる業務」
や「顧客満足度を上げるための時間」
にどう使えるかを合わせて提案するのが稟議を通すコツです。

POINT 3

投資回収期間（ROI）を明確にする

「月額3万円のシステム」で「月額10万円分の人件費（ムダ時間）」が削減できるなら、導入した月から黒字になります。数字で論理的に説明しましょう。

説得のための「ムダ時間診断書」を作成する

上司を説得するための具体的なデータや資料集めでお困りですか？

つなげモンのコンサルタントが、御社の課題をヒアリングし、説得力のある提案書づくりをサポートします。